
歴史小説～維新以降～新井伯爵家の場合

蒼海颯爽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歴史小説〜維新以降〜新井伯爵家の場合

【Nコード】

N3775F

【作者名】

蒼海颯爽

【あらすじ】

持統暦エイジ208年新井康子は双子の女兒と男児を出産した。双子の父親は新井康希、同じ名字だが康子の夫ではない。実は何と康希は康子の双子の兄だった。そこに百歳を超える新井某と名乗る老人がいきなり現れなぜか伯父夫婦の話をしだした。老人が語った真実と結論とは！！

第一話（前書き）

実は18禁かもしれません。

第一話

持統暦エイジ86年、新井伯爵嗣子である康暢は自分は一体何なのかわからなくなっていた。

自分は超一流大学に通う名門新井伯爵家の嫡男でこれまた由緒正しい銭高伯爵家から才色兼備で有名な秀子姫を妻に迎え昨年には長女睦子と長男康睦が同時に生まれ早くも来年には第3子が誕生予定でまさに順風満帆な人生だったが心が満たされることは決してなかった。

一方妻の秀子も名門の銭高伯爵家に生まれ超一流大学付属の女学校に通う名門女学生で15歳にして名門新井伯爵家に嫁ぎ翌年には男女の双子を出産して

16歳にして名門新井家の跡取りを産むという大役を果たしさらに次の子も妊娠してそれでいながら女学校でもトップクラスの成績を維持しまさに順風満帆な人生だったがやはり満たされない思いがあった。

それもそうだろう。まだ19歳と17歳の未成年だったのだから。この結婚も二人が愛し合って結婚したのではなく二人が遠縁にあたり周囲が決めたのであって二人の意思などなくせつかく子供を産んでもまだ若いという理由で子育てに関与できず秀子なんか退院した次の日にはもう女学校に復帰していた。

また女学校は混乱を防ぐため結婚しても旧姓のままという決まりで秀子は銭高姓だったがすっかり新井秀子の気分の秀子はしっくりいかずけれどもはや独身には戻れないのである。

康暢も子供存在を自慢する一方で実は子供を心の底から愛せない自分がいてまた秀子と寝ても何も感じることは出来ず、しいては女性自体に性的な感情を抱いていないのではという疑念すら生まれていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3775f/>

歴史小説～維新以降～新井伯爵家の場合

2010年10月14日13時02分発行